



きちんとしめていますか？ シートベルト & チャイルドシート

12月1日(水)午後1時30分頃、宇部市大字瓜生野
国道2号で普通車と大型貨物車が衝突し、普通車の乗員が
負傷しました。

普通車には3人が乗っていましたが、運転席と後部座席
の若い夫婦2人が重傷で、後部座席でチャイルドシートに
座っていた3か月の乳児には、けがはありませんでした。

それどころか、現場に駆けつけた警察官にかわいい笑顔
を見せたそうです。

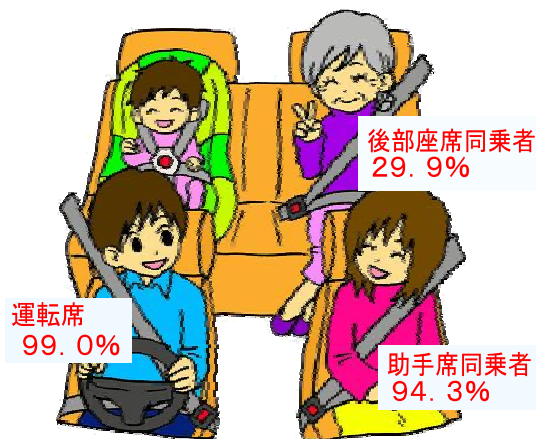
詳しい状況は、12月2日(木)山口新聞に掲載された
記事のとおりですが、今回の事故については、チャイルド
シートを正しく着用していた効果として、乳児への被害が
大きく軽減されたものと思われます。

右図のとおり、県内の後部座席のシートベルト着用率は
まだ低く、その効果が十分理解されていません。

皆さん、シートベルトは正しく着用してこそ、その効果
を発揮することができます。運転者も同乗者も万が一の事
故に備え、シートベルト・チャイルドシートを必ず着用し
ましょう。

山口県内の一般道における シートベルト着用率

(平成22年10月 JAF・警察合同調査)

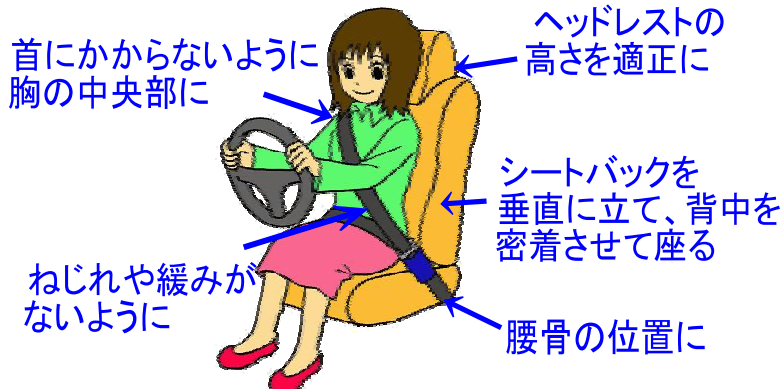


平成22年12月2日(木) 山口新聞

**トラックと衝突
宇部で夫婦重傷
子供シート乳児無事**

1日午後1時半ごろ、宇部市瓜生野の国道2号で、北九州市小倉北区、会社員原田智幸さん(29)の乗用車が、対向の和歌山市木ノ本、運転手吉山勝さん(31)の大型トラック側面に衝突。原田さんが右腕、後部座席同乗の妻で無職花奈さん(20)が腰の骨を折るなどの重傷を負った。原田さんの車の後部座席では長男(3カ月)がチャイルドシートに座っていたが、けがはなかった。吉山さんにもけがはなかった。

宇部署によると、現場は片側2車線の直線。原田さんの車が中央線をはみ出したとみて原因を調べている。この事故で、同国道は現場付近が約2時間、上下線とも通行止めとなった。



妊婦さんは、法律で健康保持上適当でない場合にのみシートベルトの使用義務が免除されていますが、妊娠中の方も、シートベルトを正しく着用することによって交通事故に遭った際の被害から母体と胎児を守ることができます。お医者さんに相談の上、正しく着用しましょう。